

2018年度いわきJC基本理念

## 可能性が広がるJC運動と夢溢れる故郷の創造

2018年度いわきJC基本方針

1. 伝統と時代に適応した組織づくり
2. 自身が変革する覚悟を兼ね揃えた強い人財の育成
3. 特性を活かした夢と魅力ある地域の創造
4. 未来を見据えた次世代社会の創造

2018年度スローガン

## 絶え間なき努力と挑戦！

### 真の想いに誠を尽くせ

所 信

理事長 蛭田 啓一

#### 【はじめに】

私がJCに入会したのは2004年の夏でした。それから半年後、私が在籍した勿来JCを含め、市内に存在した5つのJCは「いわき」という故郷の繁栄を共通のテーマとして統合し、新しい風を起こし、これまで数多くの運動を展開してきました。一つ一つの運動には、先輩方の努力があり、いわきJCが今に受け継がれています。私は、この14年余りの活動を通し、多くの方々にお世話になりたくさんの経験をさせていただきました。そして、同志といえるたくさんの仲間と出会い、今も変わらずお付き合いをさせていただいております。生来、内向的な私の中の可能性を信じ、期待を持ち続けてくれた先輩や仲間にとっても感謝しています。

私たちJayceeは、一人ひとりが、地域で生活する一社会人として、常に、自身の会社や家庭、そして地域において、最善のあり方や最良の成果を求めて行動していますが、人にはそれぞれに違う考えがあり、百人いれば百の考えが存在します。多くの人間が一つの目標を掲げて、ともに行動していくためには、それぞれの多様性に富む能力と持ち味を活かし、互いの考えを融和させるために、心を開いた議論を重ねて新たな価値観を創出していくことが重要です。私たちは、現代を担う青年経済人として、社会に貢献する奉仕の心を持ち、切磋琢磨しあえる仲間とともに、

夢ある故郷の実現に向けて行動を続けてまいります。そして、自身の成長を信じながら、地域を知り、より多くの知識を身に付けて、一人ひとりが、主体的に行動し故郷を牽引するリーダーとして、地域の発展を目指してまいります。

J Cは、その特徴として単年度制があります。与えられた一年という時間の中で、自分自身を見つめ、苦手な分野でも挑戦を重ねていくことで、物事に対する理解力や判断力が向上し、新しい自分との出会いに繋がります。あらゆることにチャレンジする気持ちを持ち、失敗を恐れることなく、自身が持つ可能性と能力を十分に発揮できるように、常にまだ見ぬ自分に向かって挑戦していく勇氣が必要です。

J Cが持つスケールメリットを活かした様々な経験と、たくさんの人と交流し自分を磨き続けることで、故郷から頼りにされる人財へと成長していきましょう。今を預かる私たち Jaycee が誰よりもたくましさを持ち、その姿を、次代を担う子どもたちへ見せていきましょう。受け継がれてきたバトンを後世に繋いでいくことが私たち青年としての役割と考えています。

#### 【強い組織づくり】

いわき J Cは、これまで先輩方の努力により、J Cが持つその特性を活かしながら、その時代に合わせて組織運営を行ってきました。私たちは、市民へ発信していく運動が、より価値あるものであるために、会員や地域、市民の方からの信頼と負託に応じていく盤石な組織運営を行う必要があります。私たちは50年以上受け継がれてきたこの組織を受け継ぎ、今よりも盤石な組織を確立し、次の青年へと繋いでいかななくてはなりません。

そのためには、会員一人ひとりが、J C運動の輪をより広げていくために、常に志を同じくする同士を迎え、増やしていくことが必要です。ともに青年としての大切な時期を楽しみ、苦しみを分かち合える仲間を一人でも多く増やし、地域の将来像を新たな価値観で切り開いていく、そんなJ Cという学び舎の中で、会員同士が切磋琢磨し、互いを思いやり尊敬し合える仲間とともに、未来を語り合える夢溢れた素敵なお組織にしていきたいと考えています。

#### 【たくましいまちづくり】

東日本大震災から7年が経過しようとしています。私たちの故郷は未だ復興の道半ばにあります。また、今もなお、避難を余儀なくされた多くの方たちがいわきに住まわれています。私たちは、浜通りの復興を誓う者として、まちの将来をともに見据えて、故郷の復興のビジョンを描いていかなければなりません。時代は近代日本建国以来、はじめて経験する超少子高齢化社会を向かえ地方創生に向けた戦略と推進が求められています。いわきにおいては東日本大震災以降、社会動態の変化によって約35万人の地方都市となりましたが、出生率の低さや若者の首都圏への人口流出は、県内の類似都市と比べても顕著になっています。新たなまちの形態が求められていく今後の故郷においては、時代に適応したそれぞれ地域のあり方を考え、市民とともにいわきが

持つ広域多核都市としての独自性を磨いていかなければなりません。そして、市民が暮らしやすいまちを求めて、その環境を将来に向けて整えていく必要があります。

さらには、いわきが魅力あるまちとして将来に続いていくために、昭和40年以降、観光産業のシンボルとして、これまで根付いてきた「フラ」をいわき独自の文化として確立し、他県に誇れる魅力にしていきたいと考えております。官民が一体となり「フラ」文化を推進し、地域の方々との交流を図りながら、「フラ」を市民の日常生活に浸透させ、いわき独自の文化として、その力を故郷の発展に繋げてまいります。その先には必ず、いわきの魅力に多くの方々が共感し、多数の人々がいわきに興味を持ちいわきに訪れる、人と人とが触れ合う活気にあふれた故郷の姿があります。

また、近年日本の各地においては、自然災害が多発しており甚大なる被害を齎しています。東日本大震災から7年が経過しますが、私たちは、震災の記憶を決して風化させてはなりません。我々の故郷が災害に強いたくましい街として、未来に在り続けていくためにも、震災で得た教訓はしっかりと後世に繋いでいく必要があります。その役割が、次代を担う者たちのために我々にはあります。いつまた襲ってくる災害に備えていくためにも、常に防災・減災への意識を持ち平時より対策に取り組んでいく必要があります。そして、市内の支援だけに留まることなく、各地の災害に対しても震災で得た経験や学んだ知識を活かし、能動的に支援ができる体制を整えていきましょう。さらには、自助、共助、公助のそれぞれの役割の基で行動し、関係機関との連携を強化し有事の際に備えてまいります。

#### 【協働によるまちづくりへの取り組み】

昨年いわきJCは、いわき市やいわき市商工を中心とした関係諸団体と共に「スポーツの力い  
わき市を東北一の都市にする。夢・感動・未来づくり」で共同宣言を行いました。スポーツは、エンターテインメントとしての集客力と産業の成長に期待がもてます。スポーツを核にまちづくりを展開することで、いわきに多くの人を呼び込み、関連産業の集積を図ることに効果があると考えられます。スポーツには人をワクワクさせる力、夢と希望を育む力、自分の弱さを克服する力があります。その力を地域として最大限に活用し、子どもたちの健全育成や、市民のコミュニティ創出、健康増進などに活かし、市民がスポーツを通じて故郷と一つになり、故郷に誇りを持つ社会を市民の皆さんと共に目指してまいります。

#### 【次代を担う子どもたちへ】

少子高齢化が進むこの日本において、これからを担う子どもたちの健全な育成は最も大事な取り組みの一つと言っても過言ではありません。しかしながら、今の子どもたちを取り巻く環境は、核家族化の進行や、地域コミュニティの衰退、またITの加速度的普及による他世代との交流環境の悪化に晒させております。他人とのコミュニケーションの変化や減少は、子どもたちの他者を慮る協調性や、社会の中での自分自身を確立する自立性を奪うことにも繋がります。子どもたちは故郷の次代を担う存在であるからこそ、人にやさしく、自分の可能性を信じられるように育

んでいかなければなりません。そのためにはまず、自分たちが生まれ育った故郷の良さに気づき、その故郷に愛着を持つことが重要であると思います。また、今よりも厳しい社会情勢が見込まれる時代にバトンを渡される今の子どもたちには、これからの社会の嘆きを憂うことだけでは無く、社会を前向きに変えていこうとする強い気概が必要です。その気概を醸成するために、自分自身の成長と自立が社会の発展に繋がることを認識してもらえそうな活動を行ってまいります。そして、この地域をこれからも大切に繋いでいくために、いわき J C は子どもたちの親や地域の方々とも連携した青少年の育成に取り組んでまいります。

#### 【出向者への支援】

私たちの地域 J C は、自分たちのまちの問題を改善し、より良いまちの環境を次世代に繋いでいくために活動を行っておりますが、広域的な問題の解決には一地域 J C の力だけでは限りがあります。その問題を解決するために、情報を共有した横断的な活動によって、問題を解決しようと日本 J C を始め、各協議会を全国の地域 J C が集い作ってきました。

本年度いわき J C は、日本 J C 福島ブロック協議会の会長を輩出することが決まり、県内の同志たちとの情報の共有と問題の解決に向けた議論が深まる好機を得ることができました。この機会を LOM として活かし、福島ブロック協議会をはじめとして出向するメンバーの活動をこれまで以上に支援することで、出向者が得る経験を LOM へ還元し、LOM が活性化する良い流れを生んでまいります。

#### 【むすびに】

私たち一人ひとりが自分自身と社会の未来を切り拓いていく主人公として、自分が成長する可能性を信じて、目の前の課題と自分自身の弱さに挑戦していきましょう。まだ見ぬ成長した姿から見える社会は、より彩鮮やかに明るく皆さんを迎えてくれるはずです。

そんな、まだ見ぬ自分に出会わせてくれるのが J C です。J C が持つ様々な方々との出会いを通じて、自分自身を磨いていきましょう。

自分自身の成長は自分だけのものに留まらず、他者と故郷を明るく照らします。共に夢を持ちましょう！共に未来を描きましょう！素敵な自分と故郷を創るために！